



史蹟史料部

2022 年 9 月 14 日

#9

日本人墓地公園

ニュースレター

ケーンヒルコミュニティクラブ婦人部主催ツアー に日本人墓地公園を訪問いただきました

7 月 16 日（土）の朝、ケーンヒルコミュニティクラブ婦人部主催のツアー 20 名に日本人墓地公園をご訪問いただきました。



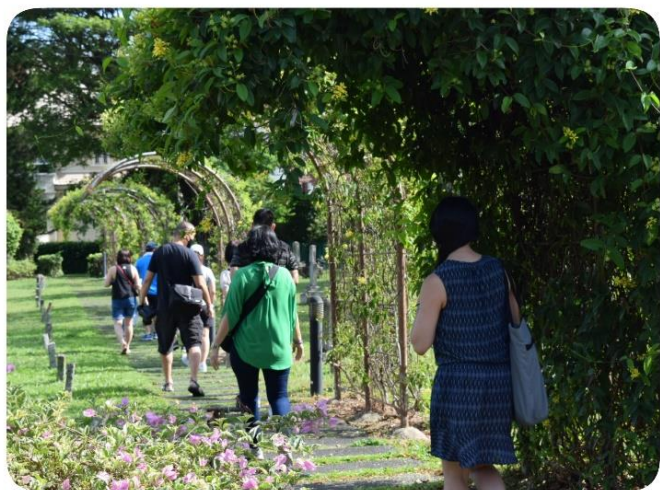
婦人部の担当の方からは、日本からやってきた女性たち「からゆきさん」を中心にとガイドのリクエストをいただき、まずは御堂にご案内してお話をしました。

からゆきさんのお話→ニュースレター # 4 をご覧ください

[シンガポール日本人会 | 【史蹟史料部】日本人墓地公園 ニュースレター \(jas.org.sg\)](#)

シンガポールに最初に定住した音吉の物語も、参加者の皆様に大変興味深く耳を傾けていただきました。

1867 年に病死後、ブキティマ・ロード沿いのキリスト教墓地に埋葬された音吉は、1970 年の都市計画により墓地が取り壊されたあと、チョア・チュー・カン国立墓地に移葬され現存していたことが 2004 年に発見され、現在は日本人墓地公園内の納骨堂に眠っていることは、**ニュースレター # 7** でご紹介しましたが、宗教による葬送の違い、土地計画による墓地の規制をよくご存じのシンガポール人の皆様は、地図と年代を思い浮かべながら墓地の場所を辿り、音吉の遺骨がついに日本に還った話に拍手が沸き起こりました。



ツアーに参加された方々は戦争で亡くなられた方のお墓への関心が深く、皆様から多くの質問が寄せられました。からゆきさんの小さな碑、メモリアルプラザの碑文も、1つ1つをじっくり見て回っていただきました。

